

山梨中央銀行は、大学などの研究機関が保有する技術シーズと企業ニーズを結びつけ、新技術の開発や新規事業の創出を支援するリエゾン（橋渡し）活動に取り組んでいます。

本レポートでは、山梨大学の先生とその研究内容を紹介していきます。本レポートが、中小企業のみならず抱える経営課題の解決や新産業創出の“ヒント”となり、ビジネスチャンスにつながればと考えております。

<第57回>



地域の風土に合った栽培手法の
確立を目指して

村松 昇 先生

生命環境学部 地域食物科学科 教授

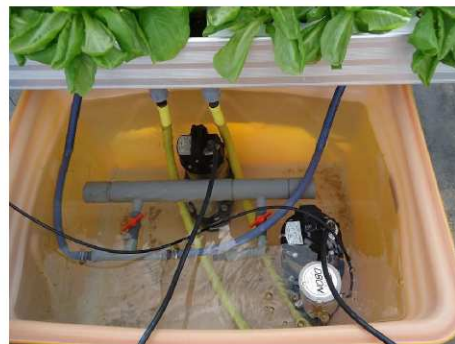
■どのような研究をされていますか。

果樹や野菜、花きなどの園芸作物についての研究を専門にしています。

私は、生命環境学部が開設されるにあたって一昨年9月に着任し、現在は、育種や栽培など、園芸作物に関する幅広い範囲の授業を担当しています。

それ以前は、国の研究機関で様々な研究を行ってきました。例えば、水分、温度、土壌と作物の生長との関係のほか、放射線利用による新種開発なども行ってきました。研究分野も、対象となる作物も果樹を中心として様々でした。

こうした経験から、種類に関わらず、園芸作物の栽培に関しては一通りの知識がありますので、これを活かして、山梨の風土に適合した栽培技術と知識を体系化することができないかと考えています。



通常の泡とは異なる性質を持ち、洗浄、殺菌などに活用できる微細な泡（マイクロバブル）を使い、サラダ菜を水耕栽培している様子。

■山梨の風土にはどのような特徴がありますか。

山梨に来て感じたのは、狭い範囲で多様な気候が見られるということです。甲府盆地の周りに多くの山間部があるという地形ですので、近距離でも一つ山を越えると晴れていたり、雨が降っていたりと、天気が変わることがあります。峡南地域には比較的暖かい地域の作物が作れる環境、峡北地域などには寒冷地のような環境があります。土壌についても、火山灰土壌であったり、花こう岩土壌であったりと多様です。

作物の栽培環境の大きな要因である、雨、温度、土壌について、これほどに多様であるのは、他の県にはない山梨の風土の特徴であると言えます。

これは、園芸作物の栽培技術を研究するにあたって非常に興味深い環境であり、このような風土に適合した作物の栽培技術について研究することは、非常に有益であると考えています。

■栽培技術や知識の体系化にはどのような意味があるのですか。

例えば、山梨では葡萄など果樹の生産が非常に盛んで、生産者の皆さんは、見事な栽培ノウハウを持ち、美味しい果物を世に出しておられます。しかし、多くの場合、そのノウハウは生産者の皆さん一人ひとりの経験として保有されていて、共有化されているものは少ないのではないのでしょうか。

持続的に生産者を確保し、農業が発展していくためには、新規参入者が、こうしたノウハウを体系的に整理された知識として得られることが大切です。

栽培技術と知識を体系化することは、農業参入の敷居を下げることに繋がるのではないかと考えています。

また、多様な気候を持つ山梨の風土に適合した栽培技術や知識を体系化できれば、県外を含めた様々な地域の気候条件でも適応可能な、応用範囲の広い、非常に有用なものになると考えています。

■他に研究対象としたいことはありますか。

収穫した果物の鮮度を、より長い期間維持したまま貯蔵する技術について、研究したいと考えています。

例えば、冷蔵庫で果物を貯蔵する場合など、庫内の湿度が低いと、果実が軟化し、鮮度が落ちてしまうことがわかっています。湿度を高く保てば鮮度を維持しやすくなるのですが、今度はカビなどの心配が出てきますので、庫内を衛生的に保ちつつ、湿度を高めていくようにします。

また、果物が成熟するのを促進する働きがあるエチレンなどの物質を分解したり、吸収したりする装置を貯蔵庫に設置することで、果物をより長期間貯蔵する技術があります。

こうした果物の鮮度を長期間維持する技術は、実は既に確立されているものもありますが、あまり普及していないか、誤って使われているのが現状です。

実証研究を行いながら、技術が普及するための発信をしていければと考えています。

■何か農業生産者と協働するようなことはありますか。

長期的には、農業生産は地球温暖化等の気候変動に適合していかなければなりません。山梨には幅広い温度帯の地域がありますので、県内のものを集約するだけでも、かなりの

ノウハウの蓄積ができるのではないかと考えています。

この研究は、農業生産者の皆さまにご協力いただきながら進めていく必要がありますので、できるだけ多くの方と接点を持ち、大学からもノウハウを提供できればと考えています。

作物の栽培、また、収穫物の保存方法について、お困りのことがあれば、ご相談いただければと思います。

“園芸作物”についてご相談がある方は、
山梨中央銀行 営業統括部 法人推進室

TEL: 055-224-1091 まで、お気軽にご連絡・ご相談ください。